

Black Box

耐光性積分球

耐光に優れメンテナンス性がよく、装置ごと最適な形状でご提案します。



概要

光源の全光量を測定するためには幾つかの方法がありますが、積分球は、全光束測定で用いられる基幹ツールの一つです。

積分球は、球の内面に高反射率を有する拡散反射面で構成され、球内で点灯した光源の光束や、球内に入射された光束を幾度も反射させ、その壁面の照度を一定にさせ、その一部の光を測光することで、全光束を測定するための球になります。

この積分球を用いる光計測は必ずしも研究室のような温度や湿度が管理された環境の整った条件だけでなく、工場などの生産ライン上での検査にも必要となっています。

生産ラインでは、その機械振動により拡散反射面の損傷、塵埃による汚損、環境要因による劣化や化学変化など必ずしも現状の積分球仕様では満足できなくなっており、高い堅牢性、長期安定性が求められています。

そこで本積分球は、その欠点を克服し、耐候性のある積分球(特許取得)を開発しました。耐候性に優れ、メンテナンス性がよく、装置ごと最適な形状で提案するなど、常に使う人の立場、環境に合う測定技術の提供を追求しています。

特長

- バインダーを使用せず、硫酸バリウム100%で白色反射面を作成
- 検査・選別装置に合わせて積分球のサイズ、形状を自由に設計可能です。
- 機械振動などに耐えうる機械強度を有しています。
- 万一拡散面が汚染、劣化した場合にも再生、メンテナンスが可能です。
- 生産現場の環境下でも堅牢性、長期安定性に優れた耐候性に優れます。

